

(総括)

1. 平成 25 年度は、厳しい職員体制の中、基準に見合う職員の確保に努めました。

4月に夫婦職員一組を採用しましたが、短期間で退職した後、6月末で児童自立支援専門員・児童生活支援員の寮担当夫婦職員一組が退職しましたので、職員募集を続け、職員の採用、一方で退職もありましたが、25年度を通じて配置基準に見合う職員数を確保できるように努めました。

2. 心理職を配置

個別対応を要する児童が増加していることから、福祉、教育に心理も加えて、より総合的な対応ができるように、4月に、心理職を1名採用しました。

3. 入所児童は少人数

年度当初は、一般寮3寮、高校生寮1寮の体制で始まり、6月に一般寮1寮の担当職員が交替したことや輪休時対応できる職員が少ないなど、平成 25 年度は、児童にとってとともに、職員体制と寮運営全体にとっても、厳しい年でした。その中で、北海道家庭学校創立の原点を大切にして、自然の感化力に生かされ、小舎夫婦制の家庭的環境のもとで、作業、学習を通じて、「よく働き・よく食べ・よく眠る」生活を堅持し、児童の社会への自立に向けた立ち直りを職員一体となって支援に努めました。

このような状況であったことから、入所児童は、平成 25 年 4 月 1 日、在籍数 27 名で始まり、26 年 3 月 1 日には在籍数 33 名、平均して 30 名という少ない人数になりました。この間の入所児童数は 20 名、退所児童数は 22 名。入所児童は、中学 2, 3 年生で大部分を占めるほか、中卒生として入所した児童もいました。退所児童は中学 3 年生及び中卒生が殆どで、主な進路の状況は、高校進学のための家庭復帰や自立に向けた施設変更、高校の卒業生は就職となっております。自立支援未達成で退所した児童も 4 名いました。

4. 自立支援の状況

(1) 職員による不適切な行為の再発防止

平成 25 年度において、職員による児童への行き過ぎた行為が 1 件ありましたが、引き続き、①職員研修の充実、②ホウ・レン・ソウの徹底、情報の共有、職員会議の定例開催、③第三者委員制度の周知、④児童相談所との連携強化などに努め、再発防止に取り組みました。

## (2) 個別や専門的な対応にも配慮

入所児童をみると、被虐待経験のある児童の割合が6割強、また、発達障がいのある児童の割合が約5割を占めており、厳しい養育環境の中に置かれていたり、集団生活が困難な児童が増加する傾向にあることから、新たに配置した心理士による支援を加えるとともに、児童相談所、医療機関や専門家等との連携を深め、一人ひとりと集団が安心して生活できるよう取り組みました。とりわけ、性的問題をかかえる児童も少しずつ増えてきていることから、このような児童への対応に当たって、平成25年度も継続して、臨床心理士に委嘱し、子ども心理サポートプログラムを実施しました。

## (3) 分校と連携して学習支援

平成21年度から遠軽中学校望の岡分校・遠軽東小学校望の岡分校が設置され、午前学習、午後は、週3日は、総合学習として作業班学習が取り入れられていること、家庭学校と分校との共催の行事が設けられていること、中学過程における習熟度別クラス編成など義務教育課程の生徒の教育プログラムは個々に対応した工夫がなされていることなど、家庭学校児童一人ひとりの特性に配慮した分校の運営がなされていますので、平成25年においても、引き続き連携を深めながら児童の生活面・学習面を総合的に健やかな成長の支援にあたりました。

## (4) 中卒生の進路の支援

義務教育課程を修了した中卒生には高校進学や就職に向けた支援が必要ですので、平成25年度も中卒生クラスを設置し、基礎学力の向上や作業のレベルアップなどにつながるよう、非常勤職員をクラス担任として配置し、多様な生徒のニーズに合ったプログラム編成とクラス運営をすすめたことにより、希望する高校進学や就職などの進路へ結びつけることができました。

高校生には、町内の高校定時制への通学送り迎え、アルバイトの送り迎え、また、高等養護学校生の寄宿舎の送り迎えを行い、卒業・自立への支援に努めました。

## 5. 計画的な寮舎等の施設整備

平成25年度は、老朽化した樹下庵に、研修室、ゲストハウス、面談室の機能をもたせたものに整備するための改築工事を行いました。

## 6. 児童数は低迷しましたが家庭学校の会計上は資産増

平成 25 年度における暫定定数は、24 年度の児童数が伸びなかった影響を受けて、前年度の 46 名から 41 名に下がりました。これに伴う措置費収入は、事業活動収入の大部分を占めており、減額が予想されましたが、25 年度の措置費単価が増額されたことと心理職配置による加算があったことから若干の増額になりました。補助金収入は、車両購入に対する補助金もありましたが、山林間伐に伴う補助金において、24 年度の大量間伐に比べて小規模であったことから前年度から約 9 7 0 万円の減額、生産部活動収入は、山林の材売上額の減額及び乳量減による乳代の減額に伴って前年度から約 8 0 0 万円の減額、また、寄附金収入において、事務費支出に伴って百周年記念事業寄附金から一部振替えて約 5 4 0 万円の増額となり、これらにより、事業費活動収入は、前年度から約 9 5 0 万円減額になりました。

事業活動支出については、人件費支出において、職員の配置基準に見合う職員数を確保したことや定期昇給を行ったことにより前年度より約 4 3 0 万円増額、事務費支出において、建物の老朽化に伴う修繕費が嵩んだことや百周年記念事業に向けて桂林寮の改修工事を行ったことにより前年度より約 4 0 0 万円増額、一方、事業費支出においては、山林事業の大幅減額や当初予定した寮舎の増を行えず、児童数の低迷により、1, 2 0 0 万円の減額となりましたが、全体では、約 2 3 0 万円増額になりました。

この結果、当校の主たる業務に係る収支では、約 1, 8 6 0 万円の増になり、当校全体の 25 年度の収支は資産が約 1, 7 3 0 万円増となりました。

## 7. 訴訟

平成 25 年 10 月に、札幌高等裁判所から、北海道家庭学校の対応が肯定的に捉えられて控訴棄却の判決がありましたが、控訴人側が上告していたところ、平成 26 年 4 月 24 日、最高裁判所では上告を受理しないことが決定され、全面勝訴で決着しました。

## 8. 百周年記念事業

禮拜堂の講壇裏控室の補修工事、桂林寮内に留岡幸助記念室の設置、博物館の移設に伴う改修工事を行うとともに、百年史の資料編の整理、ひとむれ特集号の寄稿依頼、記念募金事業などを進めました。

## I. 組織体制について

### 1) 役員

理事長及び理事、監事は、平成 24 年度に引き続き各役職で労していただきました。平成 26 年 3 月 14 日付けで任期満了になり、平成 26 年 2 月 27 日開催の理事会において全員の再任が決められました。また、理事長は、平成 26 年 3 月 15 日開催の理事会において理事の互選により、永井 信氏が再任されました。

(任期 H26.3.15～28.3.14)

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	永 井 信	理 事	佐 藤 京 子
理 事 理事長職務代理者〔第2順位〕	坂 本 満	”	佐々木雅昭
理 事	家 村 昭 矩	常 務 理 事 理事長職務代理者〔第1順位〕	熱 田 洋 子
理 事	森 下 一 彦	監 事	遠 山 博
”	齋 藤 義 信	”	枝 松 邦 幸
”	太 田 充 子		

### 2) 嘱託医、顧問等、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

嘱託医、顧問、事故防止対策委員等は、昨年度に引き続き、次の委員等の方々をお願いしました。

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
嘱託医 (内科)	瀧 本 玲 子	苦情解決第三者委員	藤 江 昭
嘱託医 (精神科)	太 田 充 子	苦情解決第三者委員	熊 谷 憲 子
嘱託医 (歯科)	東 海 林 浩 二	事故防止対策委員	木 村 一 則
顧 問 弁 護 士	村松法律事務所 村 松 弘 康	事故防止対策委員	秋 保 利 勝
		事故防止対策委員	塚 田 由 美 子
山 林 顧 問	森 島 直 紀	事故防止対策委員	里 見 貴 史
山 林 顧 問	佐 藤 盛 市	事故防止対策委員	熱 田 洋 子

内科及び歯科の嘱託医には、健診を中心にして児童の健康な成長を診ていただき、また、疾患の予防をすすめていただきました。

精神科の嘱託医には、来校時に児童の状態や生活の様子を診ていただき、精神面・心理面の健やかな成長へと指導していただきました。

山林顧問には森林組合から提案された山林事業を進めるに当たり、現地視察の上助言をいただきました。

顧問弁護士には、訴訟関連で継続して尽力していただき、規程改正等についてもご指導をいただきました。

第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告するとともに、職員の事故が起きた時は、直ちに合同の会議を開き、対応策や再発防止策等について審議していただきました。

第1回 平成25年10月22日開催

学校の近況、平成25年度家庭学校事業計画及び予算について

第2回 平成25年10月22日開催

職員による児童への行き過ぎた行為について、再発防止策について

### 3) 百周年記念事業実行委員会の運営

平成 26 年（2014 年）の開校百周年を記念する事業について、取組の状況を報告するとともに、今後の進め方について審議していただきました。

北海道家庭学校創立百周年記念事業実行委員会委員

任期 平成 24 年 9 月 12 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

名誉会長	堀 達 也	前北海道知事
会 長	永 井 信	社会福祉法人北海道家庭学校理事長
委 員	二 井 仁 美	北海道教育大学旭川校 教授
〃	佐々木 修 一	遠軽町長
〃	河 原 英 男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	藤 江 昭	遠軽町社会福祉協議会長
〃	佐 渡 博 夫	遠軽町自治会連絡協議会長
〃	吉 川 紘	北海道家庭学校後援会長
〃	太 田 充 子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	斎 藤 義 信	〃
〃	坂 本 満	〃
〃	佐々木 雅 昭	〃
〃	佐 藤 京 子	〃
〃	森 下 一 彦	〃
〃	遠 山 博	社会福祉法人北海道家庭学校 監事
〃	枝 松 邦 幸	〃
〃	家 村 昭 矩	社会福祉法人北海道家庭学校 理事・参与
〃	熱 田 洋 子	社会福祉法人北海道家庭学校校長

実行委員会の開催

第 2 回 平成 25 年 12 月 21 日

・百周年記念事業の取組状況の経過報告

禮拜堂講壇裏室改修、桂林寮内部改修工事、展示専門業者による基本計画策定  
チャリティコンサートの開催結果、

第 3 回 平成 26 年 3 月 15 日

・創立百周年記念事業に係る事業計画及び予算について

創立百周年記念募金の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在） 167 件 26,196,538 円

#### 4) 酪農経営委員会の設置

平成 25 年度に引き続き、委員には、当校における酪農部のあり方の検討及び職員の配置等、経営状況に関する必要事項を調査、審議していただきました。

##### 社会福祉法人北海道家庭学校酪農経営委員会委員

任期 平成 26 年 3 月 15 日から平成 28 年 3 月 14 日まで

副委員長	紺野勝歳	NPO 法人地域活性化貢献会議副理事長
	坂本満	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
	佐々木雅昭	〃
	遠山博	社会福祉法人北海道家庭学校 監事
	枝松邦幸	〃
	平井敬二	社会福祉法人北海道家庭学校総務部次長
委員長	熱田洋子	社会福祉法人北海道家庭学校校長

#### 委員会の開催状況

##### 第 2 回 平成 25 年 9 月 12 日

酪農経営業務について、平成 23 年度から改善に向けて指導してきたところであるが、改善の状況が不十分であることから、早急に改善を求めることが必要であり、その旨、理事会に報告し対応を求めることとなった。

##### 第 3 回 平成 26 年 1 月 16 日

酪農経営業務の指導状況を報告し、家庭学校における酪農について今後のあり方が審議された。

### 3) 職 員

児童自立支援専門員・児童生活支援員は、4月に夫婦職員を1組採用しましたが短期間で退職の後、6月末で寮担当の夫婦職員1組が退職しました。寮担当職員の退職に伴い、平成24年12月に採用した夫婦職員を7月から寮(石上館)担当にしました。

また、7月末で、女性職員が1名退職した後、8月に女性職員を1名、男性職員を1名採用しましたが、男性職員は10月に退職しました。

このような状況の中で、職員配置基準に見合った職員確保を目指しました。

平成25年度在職職員及び処務分掌は、次のとおりです。

職 名	氏 名	職 務 内 容
校 長 (兼) 総務部長・法人本部事務長	熱 田 洋 子	(平成26年3月31日校長及び総務部長の兼務を解く)
参 与	家 村 昭 矩	非常勤 (平成26年3月31日解く)
総 務 部 次 長	平 井 敬 二	法人本部事務 (兼) 施設事務・会計
書 記	粒 見 弥 生	施設事務 (兼) 法人本部事務・会計
栄 養 士	長 谷 川 優 子	栄養管理、給食献立
児童自立支援部長	阿 波 加 忠 純	人事交流で北海道から派遣 (平成26年3月31日退任)
児童自立支援専門員	楠 哲 雄	教務主任、掬泉寮長・作業指導担当
〃	高 橋 徹	楽山寮長・生徒指導主任
〃	中 村 正 美	石上館寮長、作業指導担当 (平成25年6月30日退職)
〃	水 原 学	作業指導担当・休暇寮担当、7月1日から石上館寮長
〃	坂 本 英 人	向陽寮長
〃	千 葉 正 義	作業指導主任
児童自立指導員	竹 中 大 幸	作業指導担当
〃	吉 田 真 吾	作業指導担当 (平成25年4月1日採用、5月31日退職)
〃	辻 正 行	作業指導担当 (平成25年8月20日採用、10月19日退職)
児童生活支援員 (調理員を兼ねる。)	楠 美 和	掬泉寮母
〃	高 橋 浩 美	楽山寮母
〃	中 村 清 子	石上館寮母 (平成25年6月30日退職)

〃	水原詩乃	休暇寮担当、7月1日から石上館寮母
〃	坂本愛美	向陽寮母
〃	岸田珠季	教務担当
〃	吉田恵	教務担当 (平成25年4月1日採用、5月11日退職)
〃	年藤香苗	教務担当 (平成25年8月1日採用)
心理士	姜京任	心理担当 (平成25年4月1日採用)
職業指導員	夔本賢治	酪農部主任
〃	夔本広美	酪農担当
児童生活支援員	鶴岡綾乃	北海道との交流人事で向陽学院へ派遣 平成25年7月31日退職
嘱託	木元勤	中卒生学科指導
嘱託(調理員)	長瀬ひろ子	調理(休暇寮の食事担当)
〃	白石明美	給食調理(平成25年5月31日退職)
〃	金子恵美	給食調理(平成25年5月29日採用、7月31日退職)
〃	丹野準子	給食調理(平成25年6月25日採用、平成26年2月28日退職)
〃	武田真紀子	給食調理(平成26年3月1日採用)
〃	伊東睦子	給食調理(平成26年3月1日採用)

◇役職員数

理事 9名 監事 2名

嘱託医(内科・精神科・歯科) 3名

山林顧問 2名・顧問弁護士 1名・苦情解決第三者委員 2名

事故防止対策委員 5名

創立百周年記念事業実行委員 18名

酪農経営委員 7名

職員数28名(正職員 20名) 平成26年3月30日現在

(内 訳)	校 長	1名
	参 与 (非常勤)	1名
	事務職	2名
	栄養士	1名
	児童自立支援専門員	7名 (児童自立指導員含む。)
	児童生活支援員	6名
	心理士	1名
	職業指導員	2名
	嘱託職員	7名
	調理員	3名
	学科指導	1名
	嘱託医	3名

## II. 理事会等に関すること

### 1. 理事会の開催状況

開 催 日	議 件
第1回 平成 25 年 5 月 30 日	・ 人事について
	・ 平成 24 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計補正予算(第3次補正)について
	・ 平成 24 年度事業報告及び決算報告について
	・ 樹下庵改築工事に係る入札について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校就業規則の改正について ・ 社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正について
第2回 平成 25 年 10 月 8 日	・ 人事について
	・ 平成 25 年度「公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団」施設等助成金の交付決定について
	・ 平成 25 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計補正予算(第1次補正)について
	・ 酪農経営の今後のあり方について
	・ 平成 26 年度施設整備計画について
	・ 創立百周年記念事業について
第3回 平成 25 年 12 月 21 日	・ 職員の行き過ぎた行為について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校定款の一部変更について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校定款細則の制定について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校職員研修規程の制定について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校倫理綱領規定の制定について
	・ 北海道家庭学校創立百周年記念事業実行委員会規程の制定について
	・ 訴訟関係について

開 催 日	議 件
第4回 平成 26 年 2 月 27 日	・ 理事及び監事の選任について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校運営規程の制定について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の制定について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校管理規程の一部改正について
	・ 職員住宅建築工事について
	・ 平成 25 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計補正予算（第2次補正）について
第5回 平成 26 年 3 月 15 日	・ 人事について
	・ 平成 25 年度社会福祉施設に係る指導監査結果について
	・ 理事長の互選について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校経理規程の一部改正について
	・ 平成 26 年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画(案)及び一般会計予算(案)について
	・ 職員住宅建築工事の入札について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校創立百周年記念事業に係る事業計画(案)及び予算(案)について
	・ 社会福祉法人北海道家庭学校創立百周年記念事業感謝状贈呈要領の制定について

## 2. 監事監査について

平成 25 年 5 月 22 日	平成 24 年度決算監査
平成 25 年 9 月 26 日	定期監査
平成 25 年 12 月 12 日	定期監査
平成 26 年 3 月 18 日	定期監査

### Ⅲ 諸規程の整備について

関係法制度等の動き、家庭学校の運営や職員の勤務実態に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1. 定款の一部改正  
法人本部機能を発揮させるため、常務理事の校長兼務を解き、専任とすることとし、理事を1名増員するよう改正
2. 定款施行細則の制定  
理事長、常務理事及び校長の職務権限を明確にするために制定
3. 社会福祉法人北海道家庭学校就業規則の改正  
職員の就業時間について、変形労働時間制を導入、職員の服務に関する内容の充実など、現在の勤務状況に応じたものに全面的に改正
4. 社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改正  
就業規則の改正に伴い、寮職員に交代する職員の宿直手当を新設
5. 社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の制定  
法人本部機能を発揮させるため、組織及び職務を明確化
6. 社会福祉法人北海道家庭学校職員研修規程の制定について  
職員に対する研修を円滑かつ効果的に実施し、人材育成をすすめるため
7. 社会福祉法人北海道家庭学校倫理綱領の制定  
職員が、法の精神や社会的養護の原理に基づいて、児童本位の自立支援を行うための拠り所を示すもの
8. 社会福祉法人北海道家庭学校運営規程の制定について  
当校における運営の理念や方法等を明文化するため制定
9. 社会福祉法人北海道家庭学校管理規程の一部改正  
社会福祉法人北海道家庭学校運営規程及び社会福祉法人北海道家庭学校組織規程を制定することに伴い、重複を避けるとともに語句の統一を図るため改正
10. 社会福祉法人北海道家庭学校経理規程の一部改正  
平成26年度の新会計基準導入に伴う規程の一部改正
11. 社会福祉法人北海道家庭学校創立百周年記念事業感謝状贈呈要領の制定  
北海道家庭学校の発展に功績のあった個人又は団体に対して感謝状を贈呈するため制定

#### IV. 主要工事・改修について

老朽化したゲストハウスの多機能化改築工事について道の助成を受けて実施したほか、寮舎の暖房設備の改善工事、百周年記念事業に向けた建物整備等を実施しました。

① 石上館暖房ボイラー交換工事	1, 312, 500円
② 桂林寮改修工事	15, 529, 500円
③ 樹下庵改築工事	53, 655, 000円
④ 校長室間仕切改修工事	435, 750円
⑤ 本館給湯室掃除用流設置工事	283, 500円
⑥ 牧草畑暗渠宇排水工事	590, 000円

## V. 入所児童の現況について

### 1. 入所児童について

1) 平成 25 年度中における児童の入退所状況は次のとおりです。

(初日在籍人数及び各月の入退所数)

単位: 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者数	27	28	29	29	28	29	30	30	31	33	34	33	月平均 30
入所者数	3	2	0	2	2	1	2	1	2	1	1	3	20
退所者数	2	1	0	3	1	0	2	0	0	0	2	11	22

2) 平成 25 年度中における退所者の進路等の状況は次のとおりです。

進路先		人数	進路先		人数
家庭 復帰	復学	2	他の児童福祉施設へ措置変更		7
	高校進学	7	不結果		4
	その他	1	計		22
直接就職		1			

3) 児童相談所別入退所の状況

単位: 人

区分	中央	函館	室蘭	岩見沢	旭川	帯広	釧路	北見	札幌市	計
入所	2	0	3	1	2	0	2	4	6	20
退所	3	0	4	1	0	4	2	3	5	22

### 2. 寮運営について

寮舎運営について、年度を通じて4寮（一般寮3、高校生寮1）で行いました。7月からは、石上館の寮長・寮母が交替しました。

### 3. 作業班学習について

山林部、校内管理部、酪農部、蔬菜部の4部に分かれ、週3回（月・火・木の午後）作業班学習を行い、11月23日収穫感謝礼拝の前に作業班学習発表会を開催し各班の活動について発表し合いました。

平成25年度における作業学習実施状況（月別作業内容）は、次のとおりです。

【蔬菜部】

	計 画	実 績		計 画	実 績
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールハウス解体、移動</li> <li>・校内整備</li> <li>・畑耕作</li> <li>・ホウレンソウ、ニンジン</li> <li>・ダイコン播種</li> <li>・種イモ各寮配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜苗作り</li> </ul>	7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャガイモ芽かき</li> <li>・雑草抜き</li> <li>・ハクサイ播種</li> <li>・ネギ雑草抜き</li> <li>・ネギ定植</li> <li>・ジャガイモ土寄せ</li> <li>・キャベツ、ハクサイ定植</li> <li>・ダイコン播種</li> <li>・キャベツ、ハクサイ苗各寮配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャガイモ芽かき</li> <li>・雑草抜き</li> <li>・ハクサイ播種</li> <li>・ネギ雑草抜き</li> <li>・ネギ定植</li> <li>・ジャガイモ土寄せ</li> <li>・キャベツ、ハクサイ定植</li> <li>・ダイコン播種</li> <li>・キャベツ、ハクサイ苗各寮配付</li> </ul>
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シソ仮植</li> <li>・畑耕作</li> <li>・ホウレンソウ等随時播種</li> <li>・野菜苗各寮配付</li> <li>・ジャガイモ作付</li> <li>・ズッキーニ定植</li> <li>・トウモロコシ播種</li> <li>・カボチャ播種</li> <li>・ハクサイ、キャベツ等定植</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜苗作り</li> <li>・シソ仮植</li> <li>・畑耕作</li> <li>・ホウレンソウ等随時播種</li> <li>・野菜苗各寮配付</li> <li>・ジャガイモ作付</li> <li>・ズッキーニ定植</li> <li>・トウモロコシ播種</li> <li>・カボチャ播種</li> <li>・ハクサイ、キャベツ等定植</li> </ul>	8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草抜き</li> <li>・ネギの土寄せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草抜き</li> <li>・ネギの土寄せ</li> </ul>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネギ定植</li> <li>・シソ定植</li> <li>・ネギ苗各寮配付</li> <li>・キャベツ播種</li> <li>・ニンジン、ゴボウ播種</li> <li>・カボチャ定植</li> <li>・カボチャ苗各寮配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネギ定植</li> <li>・シソ定植</li> <li>・ネギ苗各寮配付</li> <li>・キャベツ播種</li> <li>・ニンジン、ゴボウ播種</li> <li>・カボチャ定植</li> </ul>	9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草抜き</li> <li>・ジャガイモ収穫</li> <li>・ジャガイモ保存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜収穫</li> <li>・雑草抜き</li> </ul>

10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アズキ、ニンジン収穫</li> <li>・カボチャ、ゴボウ収穫</li> <li>・畑耕作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニンジン収穫</li> <li>・カボチャ、ゴボウ収穫</li> <li>・畑耕作</li> </ul>	1 月		
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴボウ収穫</li> <li>・落ち葉集め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴボウ収穫</li> <li>・落ち葉集め</li> <li>・天地返し、プラウ</li> </ul>	2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タマネギ苗作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜苗作り (タマネギ、トマト、ナス、ピーマン、レタス)</li> </ul>
作業学習発表会					
12 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・天地返し</li> <li>・用具手入れ</li> </ul>	3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜苗作り (トマト、ナス等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜苗作り (チンゲンサイ、セロリ、春菊、白菜、キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー)</li> </ul>

【山林部】

区分	平成25年度		区分	平成25年度	
	計画	実績		計画	実績
4月	山林作業等	山林安全講習会 スキー場片付け 山林作業 礼拝堂参道清掃	10月	山林整備	林道草刈 落葉整備 桜山整備
5月	林道確認 山林作業	山林作業 礼拝堂参道整備 給食棟山菜採り	11月	山林整備	作業学習発表会
6月	林道確認	給食棟山菜採り 林道草刈 運動会準備	12月	スキー場整備等	
7月	林道確認 桜植樹後整備	林道草刈 礼拝堂草刈 倒木処理 桜山草刈	1月	スキー場整備等	スキー場整備等
8月	山林整備 平和山整備	山林安全講習会 礼拝堂参道整備 桜山草刈	2月	スキー場整備 山林作業	スキー場整備 山林踏査
9月	山林整備	林道草刈	3月	山林作業等	

【校内管理部】

区分	平成25年度		区分	平成25年度	
	計画	実績		計画	実績
4月	溝切り 砂利上げ	スキー場片付け 校舎周辺環境整備 土手下の砂利上げ	10月	グラウンドベンチ 塗装	スキー場リフト設置
5月	溝切り、 砂利上げ 道路補修	味噌小屋清掃 空き寮舎草刈り 桂林寮前花壇準備	11月	グラウンドベンチ 塗装	作業学習発表会
6月	除草作業	味噌造り（1回目） 花壇維持作業 空き寮舎草刈り 案内板作り(割れ止め)	12月	除雪	
7月	除草作業	本館、食料倉庫、土木 倉庫クレオソート 塗装 グラウンド草刈り・集め	1月	除雪	除雪 案内板作り
8月	除草作業	花壇草取り 給食棟周辺草取り 味噌小屋前草刈り	2月	除雪	除雪 案内板作り
9月	牧草梱包 除草作業	味噌小屋前溝掘り 味噌小屋掃除 味噌作り（2回目） スキー場リフト設置	3月	除雪	案内板設置 除雪

【酪農部】

区分	平成25年度		区分	平成25年度	
	計画	実績		計画	実績
4月	サイレージの後片付け、 電牧張り	電牧張り 除雪 サイレージ後片付け 肥料散布	10月	機械整備 堆肥散布 アザミ除草 環境整備	旧豚舎コンクリート除去 サイレージ製造 草地更新 機械整備 アザミ除草
5月	電牧張り 放牧地アザミ除去 環境整備 堆肥散布 肥料散布	環境整備、ゴミ片付け 機械整備 堆肥散布 学校水、泉清掃 ギンギン除草	11月	バター準備 電牧倒し	バター準備 電牧倒し <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">作業学習発表会</div>
6月	環境整備 牧草収穫 刈払い アザミ除草	牛舎周辺刈払い 放牧地アザミ除草 牧草収穫 ギンギン除草	12月	バター製造 除雪	バター製造 除雪
7月	牧草収穫 刈払い アザミ除草 肥料散布	ギンギン除草 牧草収穫 旧豚舎解体のための後片付け アザミ除草	1月	バター製造、除雪	バター製造、除雪
8月	尿散布 刈払い アザミ除草 牧草収穫	牧草収穫 旧豚舎解体 アザミ除草	2月	バター製造、除雪 屋根の雪下ろし	バター製造、除雪 屋根の雪下ろし
9月	牧草収穫 草地更新 ギンギン除去 アザミ除草	ギンギン除草 牧草収穫 旧豚舎解体の廃材整理	3月	除雪、屋根の雪下ろし	除雪 ハイライン清掃 牛舎内整備

#### 4. 個別対応を要する児童の対応について

最近の状況として、性的問題行動をもつ児童が少しずつ増加していることから、問題認識を風化させないよう、さらなる配慮をするとともに、全新生対象に性行動のルールについてのインテーク（分校養護教諭・家庭学校性問題ワーキンググループ担当職員が担当）を行なってきました。また、入校時に性問題ケア等の必要性を提示されている児童のうち2名に対し、非常勤の臨床心理士による「子ども心理サポートプログラム」として計16回実施しました。

新たに心理士を配置したことにより、心理職業務として、定期的な個別面接、個別心理療法、生活場面面接、児童相談所による経過判定・診断、子ども心理サポートプログラムのアシスタント、授業観察、分校教員への助言等を行いました。

#### 5. 入所児童の苦情解決実施体制について

引き続き、意見箱「希望の声」の設置、第三者委員の委嘱など、児童からの声を聞き入れる苦情解決の仕組みを設けるとともに、一学生会によるアンケート「ひとむれアンケート」を定期的実施し、話を聞いてもらいたいと希望する児童には、苦情受付担当の職員が面接するなどして、児童の声を受けとめ、話を聞く体制の充実に努めました。

- ・ 苦情処理件数 0件

- ・ 対応の状況 苦情受付担当者が話を聞き内容に応じて対処  
内容によっては、寮長に話し、生活の改善を働きかけるもの、要望に基づいて対応を検討するものがあった。

「ひとむれアンケート」

4月～5.13、5月～5.31、6月～7.12、7・8月～9.6、9.10月～11.1、  
11月～12.20、1・2月～2.28 実施

質問項目：周りとうまく付き合えているか、生活のルールを守れているか、性行動のルールを守れているか、職員からの体罰はないか、暴力や無視をみたことはないか、悩んでいる時話を聞いてくれる人はいるか など

結果の対応：職員が話を聞いた件数 8件

## 6. 事故等の発生状況

児童に関わる事故等の発生状況は、次のとおり

6月9日 3名が無断外出

7月12～16日 2名の無断外出、不法行為

10月13日 職員による児童への行き過ぎた行為

## 7. 無断外出の発生状況

年度別無断外出の状況 ( ) 内の数は帰省より未帰校数

	平成 20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
件数	2	0	2	7 (1)	3	6
延べ人数	2	0	5	16 (1)	8	13

## 8. クラブ活動について

5月から10月まで、土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。

種 目

野球、卓球、合気道

合気道については、合気道指導者の吉野先生と棚橋先生にご指導をいただきました。

## 9. 年間行事等の状況

四季折々の行事を行いました。散髪奉仕は月曜会の皆様、スキー学習は地元自衛隊駐屯地の指導員の皆様のご協力をいただいで実施しました。

4月	春帰省 (3/27～) 終了1日 平和山登山5日、始業式8日 誕生会10日、歯科検診25日 <b>散髪奉仕22日</b>	10月	研修旅行2～4日 平和山登山(遥拝)5日・ 誕生会17日 <b>散髪奉仕28日</b> 木彫コンクール31日
5月	憲法記念日講話3日 校長杯球技大会フットサル4日・ バスケットボール5日 平和山登山(遥拝)5日、誕生会16日 花見の会21日	11月	平和山登山5日、誕生会7日 救世軍遠軽小隊ミニコンサート10日 樹下庵上棟式18日 作業班学習発表22日 収穫感謝祭24日
6月	平和山登山5日 マラソン大会6日 <b>散髪奉仕10日</b> 誕生会13日 運動会30日	12月	平和山登山5日・ <b>散髪奉仕9日</b> 誕生会10日 ギターミニライブ11日 自衛隊音楽隊慰問演奏会13日 音楽発表会18日 二学期終業式20日 クリスマス礼拝・晩餐会23日 正月一時帰省25日～1月6日 歳末祈祷会31日
7月	平和山登山5日 済美館清掃6日、炊事遠足17日 誕生会18日・終業式26日 <b>散髪奉仕29日</b> 海水浴30日	1月	新年の式1日 三学期始業式14日・誕生会14日・ スキー教室15～17、20日 スキー検定21日 <b>散髪奉仕27日</b> スキー大会30日(距離)
8月	物故者慰霊祭2日・平和山遥拝5日 夏季一時帰省5～16日 二学期始業式19日・誕生会22日	2月	平和山登山5日 スキー大会5日(滑降)・13日(大 回転)、誕生会12日 雪像コンクール14日 スキー学習20日(ロックハレー)
9月	平和山登山、合気道演武会5日 <b>散髪奉仕9日</b> 誕生会12日、マラソン大会18日 野球部交流試合、ふれあいプログラム 21日 創立記念式典24日、園遊会30日	3月	平和山遥拝5日、 <b>散髪奉仕10日</b> スキー大会11日(回転)・12日(寮 対抗リレー)、誕生会13日 小中学校卒業証書授与式21日 修了式25日 春一時帰省27～4/1日

## 10. 会議の開催状況

次のとおり行いました。

- ① 職員会議 定例開催 毎週水曜日午前
- ② 処遇会議（退所含め進路の方針を決定）  
4月17日、9月11日、11月6日、2月19日開催
- ③ 成績査定会議 三賞（努力賞・作業賞・学習賞）の審査・決定  
4月4日・8月17日・1月13日 開催
- ④ 作業班編成会議  
4月4日・8月17日・1月13日 開催
- ⑤ 献立会議 毎月1回定例開催

## 11. 関係機関との連携・打ち合わせ

- ① 児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時に打ち合わせ・意見交換を行いました。

行事（運動会、卒業証書授与式）の際には、各児童相談所に案内し出席を依頼しました。

### ② 関係機関との連携

- ・卒業証書授与式には、現籍校の校長等が出席
- ・生徒が在籍する遠軽高校定時制、紋別高等養護学校と密接に連携
- ・ハローワーク、人材派遣会社等の就労関係機関・団体、経営者の卒業生等と随時連携

- ③ 退所児童（家庭復帰・復学）の地域復帰に際し、地元で開催された協議会に出席

石狩市要保護児童対策地域協議会（ケース会議） 平成26年3月26日開催  
児童自立支援部長出席

## 12. 児童自立支援計画票の作成

5月、11月に作成

## VI 職員研修について

職員の資質の向上を図るため、校内職員研修を実施するとともに、外部の研修会等へも積極的に参加しました。

<p><b>【校長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東北・北海道地区施設協議会施設長研修会 4.18~4.19 青森市</li><li>・初任者研修会を11月から計画的に実施</li><li>・幼稚園教諭、子育て支援関係者、ことばの教室関係者研修会における講師 9.4 滝上町、11.9 遠軽町</li><li>・ホーツ管内児童福祉施設職員研修会 9.25 遠軽町内北光学園、新任指導員と一緒に参加</li></ul>
<p><b>【児童自立支援部長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自立援助ホーム北海道ブロックシンポジウム 10.9 札幌市</li><li>・東北・北海道地区児童自立支援施設職員研修会 11.28~11.29 山形市</li></ul>
<p><b>【総務部次長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・社福法人新会計基準移行に係る専門相談会 8.18~19 札幌市</li></ul>
<p><b>【寮長・児童自立支援専門員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・旭川育児院職員研修 H26.3.18 旭川育児院 【楠 寮長】</li></ul> <p><b>【寮母・児童生活援員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・北海道児童自立支援施設研究協議会 11.20~11.21 道立向陽学院 【坂本寮母】</li><li>・旭川育児院職員研修 H26.3.13 旭川育児院 【楠 寮母】</li></ul>
<p><b>【児童自立支援専門員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全国児童自立支援施設職員研修会 9.25~9.27 岡山市 【千葉専門員】</li></ul> <p><b>【栄養士】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オホーツクブロック災害時の食生活支援に関する研修会 9.18 北見市 【長谷川栄養士】</li></ul>
<p><b>【児童自立指導員・児童生活支援員】(初任者)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・北海道児童相談所等新任職員専門研修会 6.10~6.13 札幌市 【竹中指導員】</li><li>・北海道児童自立支援施設研究協議会 11.20~11.21 道立向陽学院 【岸田支援員】</li></ul>

**【心理士（姜心理士）】**

- ・向陽学院での実地研修 4.22~4.23 北広島市
- ・北海道地域児童相談研究会・ブロックセミナー 8.31~9.1 札幌市
- ・児童福祉施設心理職員経験交流研修会 9.24~9.25 北広島市
- ・東北・北海道地区児童自立支援施設心理部会 10.17~10.18 青森市
- ・ホーツ管内児童福祉施設職員研修会心理部会 12.12 遠軽町内北光学園
- ・北海道子どもの虐待防止フォーラム「専門職のための子どもの虐待に関する研修」

H26.3.1 札幌市

○校内新任職員研修を実施 講師：校長；

対象：初任者【児童自立支援専門員、児童自立指導員、児童生活支援員、心理士】

第1回 11月1日 竹中指導員、水原支援員・寮母、岸田支援員、年藤支援員

第2回 11月6日 水原専門員・寮長、姜心理士

○外部講師による研修

開催日 H26.1.23

テーマ「発達障がいとは何か～様々な子どもたちが抱えている困り感の理解と適切な対応方法を学ぶ」

講師：北海道紋別養護学校ひまわり学園分校 三浦教諭・高橋相談支援部コーディネーター

出席者 職員 13名

○その他業務に必要な研修等への参加

- ・刈払機取扱作業安全衛生教育講習会 4.26 児童自立指導員

## VII 給食棟における自家生産の利用状況

作業班学習において蔬菜部は、「土づくり」から始まり、種まき、苗育て、畑への定植、草取り、収穫に至る一連の作業を行い、収穫した野菜は旬の食材として給食棟に供給しました。畑は、神社山下、給食棟下、柏葉寮裏、桂林寮前、味噌小屋前を使用しました。

他に、各寮舎ごとに栽培した野菜の中からも、給食棟に供給されました。

### 【給食棟に供給した収穫の野菜】

単位：g

	蔬菜部から		各寮などから	
4月			フキノトウ 800	
5月	チンゲンサイ 3,200 サニーレタス 800		ヤマワサビ 1,000 ギョウジャニンニク 2,000 ニラ 1,450 ミツバ 300	チャイブ 50 ヨモギ 50 コゴミ 1,200
6月	ラデッシュ 1,400 サニーレタス 280 ハウレンソウ 2,300 シュンギク 2,380 ゴボウ 280 グリーンボウル 550 ブロッコリー 3,950 カリフラワー 3,750 アスパラ 2,300	カブ 5,000 セロリ 1,100 ズッキーニ 900 ネギ 450 ダイコン 1,200 キヌサヤ 170	チャイブ 140 フキ 7,000 ワラビ 3,700 ニラ 6,600 セリ 100 ウド 1,000 キヌサヤ 179 ズッキーニ 700 ヤマワサビ 300	
7月	シュンギク 1,200 ミズナ 4,600 白花豆 3,000 サニーレタス 580 チンゲンサイ 2,100 ナス 3,200 オクラ 140 シシトウ 340	ズッキーニ 2,800 ピーマン 2,090	レタス 1,280 ラデッシュ 400 キヌサヤ 638 オオバ 550 ブロッコリー 9,580 キュウリ 10,020 バジル 66 パセリ 390	サニーレタス 850 ハウレンソウ 700 ニラ 1,290 ピーマン 500 ハスカップ 1,100 スナップエンドウ 790

8月	ピーマン 5,950 セロリ 4,980 キュウリ 8,040 ナス 5,100 シシトウ 4,100 ニラ 80 ズッキーニ 1,470 オクラ 120	トマト 3,200 ミニトマト 600 トウキビ 2,200 カブ 800 ダイコン 5,000	スナップエンドウ 240 パセリ 120 ハウレンソウ 3,600 ネギ 700 オオバ 400 ミント 30 ラズベリー 600	ピーマン 1,300 ナス 1,800 シシトウ 1,500 ズッキーニ 900 バジル 200 セロリ葉 500 ネギ 600 ミニトマト 600
9月	ダイコン 4,700 シシトウ 2,850 ピーマン 2,380 カブ 1,700 ニンジン 4,460 キュウリ 4,500 イモ 20,000 ズッキーニ 5,200	ナス 1,350 ミニトマト 1,400 キャベツ 13,600 エダマメ 1,000 オオバ 300 ネギ 500 ハクサイ 9,600 タマネギ 1,000	ネギ 750 ニンジン 1,200 ハクサイ 3,400 ニラ 560 シシトウ 1,400 ピーマン 600 ニンニク 600 パセリ 100	ナス 400 ミニトマト 2,650 キュウリ 5,800 トマト 1,700 バジル 500 オオバ 100 黄トマト 700
10月	ゴボウ 2,000 ニンジン 14,800 ハクサイ 2,000 キャベツ 13,600 ハウレンソウ 1,750 ネギ 5,800 イモ 21,700 ミズナ 1,820 カブ 3,500	レタス 1,230 ミニトマト 700 サラダゴボウ 2,600 ダイコン 7,900 サニーレタス 600 タマネギ 1,000 カボチャ 11,200 ピーマン 1,780 チンゲンサイ 500	キュウリ 300 パセリ 60 セロリ 1,200 オオバ 400 バジル 300	
11月	ニンジン 17,900 ネギ 7,050 シシトウ 1,850 ハクサイ 17,050 カボチャ 15,900	キャベツ 22,000 イモ 12,300 ダイコン 11,300 ゴボウ 2,950	パセリ 100 バジル 300	

## VIII. 生産活動

### 1. 山林経営管理について

これまで森林施業計画に基づき計画的に造林や伐採などが行われてきましたが、平成23年4月に森林法の一部が改正され、林班単位の面的まとまりのある森林を対象として森林経営を行うことになりました。平成25年度は、この新たな考え方のもとでの森林経営計画の2年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に、材木の育成の促進及び健全化のための事業を実施しました。なお、これらの事業を進めるに当たり、山林顧問に相談し助言をいただきました。

家庭学校の所有する山林は、遠軽町から上湧別町にまたがって約400ヘクタールで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他に、グイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストローブが植えられています。

#### <林班別の面積・樹種>

(遠軽町)

71 林班 88ha、天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ

72 林班 8ha、カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ

73 林班 3ha カラマツ、天然林広葉樹

74 林班 128ha 天然林広葉樹 (78ha)、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ

75 林班 82ha、天然林広葉樹 (43ha)、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ

76 林班 46ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストローブ

(湧別町)

18 林班 21ha カラマツ、グイマツ

19 林班 23ha トドマツ、カラマツ

#### 山林事業の実施状況

① 下草刈事業 遠軽町留岡 71-16・22林班外 カラ15.23ha  
(6月) 事業費 708,310円 (うち補助金 584,266円)

② 森林保護事業 (野鼠駆除)

(10月) 事業費 57,874円 (うち補助金 42,720円)

- ③ 除伐 遠軽町留岡 75-19林班外 トウヒ・トド5.96ha  
 (9月) 事業費 694,008円 (うち補助金 566,351円)
- ④ 間伐 遠軽町留岡 71-3林班外 カラ 14.88ha  
 (9月) 事業費 3,392,792円 (うち補助金3,093,288円)  
 材売上 2,792,294円
- ⑤ 皆伐 遠軽町留岡 75-9林班外 カラ 5ha  
 (2月) 材売上 3,675,000円  
 (事業費差引後)

参 考

合 計 (平成24年度の状況)

○事業費	4,852,984円	(17,925,238円)
うち補助金	4,286,625円	(14,150,638円)
○材売上	6,467,294円	(13,628,635円)

(ただし、皆伐の材売上は、事業費差引後)

2. 酪農経営管理について

酪農経営については、平成23年度から、専門家による指導が始まり、平成24年7月からは、紺野先生が、毎月1回来校され、25年度も引き続き、レクチャー及び現場指導が行われました。

牛の飼養管理、草地の管理・雑草駆除、現場のデータ蓄積等の全般的な指導を受けながら、牛乳生産やバター製造を行いました。

(1) 家庭学校の草地の状況

	通 称	面積 ha		通 称	面積 ha		通 称	面積 ha
①	向陽寮裏	0.64	⑤	住宅前	0.44	⑨	川口畑(大)	2.73
②	洗心寮前	0.34	⑥	礼拝堂裏	0.39	⑩	川口畑(奥)	1.37
③	神社山	1.42	⑦	四町畑	4.52	⑪	川口畑(小)	0.61
④	給食棟・楽山寮横	0.90	⑧	掬泉寮裏	0.52		計	13.88

○牧草の収穫 〈平成25年度〉

一 番 牧 草				二 番 牧 草			
刈取り 日	収 納 日	梱包 個数	畑	刈取り 日	収納日	梱包 個数	畑
6.22	6.30	60	住宅前・洗心寮前	8.7	8.11	50	住宅前・洗心寮前
〃	7.1	319	向陽寮裏・ 楽山寮横・給食棟裏	9.6	9.10	562	向陽寮裏・ 楽山寮横・給食棟裏 神社山
〃	7.2	389	神社山				
7.6	7.8	720	掬泉寮裏・四町畑	9.9	9.13	72	掬泉寮裏
〃	7.9	389	川口畑 (小)・礼拝堂裏	〃	9.11・ 13	93	川口畑 (小)
7.11	7.13 ~15	1,089	川口畑 (大)	〃	9.13	75	礼拝堂裏
				9.17	9.20	271	川口畑 (大)
7.12	7.16	420	川口畑 (奥)	〃	・23		
計		3,386		〃	9.27	168	川口畑 (奥)
				計		1,291	

合計 4, 6 7 7 個 (平成24年度 5, 1 8 5 個)

○牛群構成 (ホルスタイン、ジャージー)

〈平成25年4月〉

区分	経産牛							育成牛			合計
	7~10歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	計	1歳	0歳	計	
頭数	6(2)	5	2(1)	4(1)	3	6	26(4)	5(2)	6(1)	11(3)	37(7)

( ) 内は、ジャージーの頭数で、内数である。

〈平成26年3月〉

区分	経産牛							育成牛			合計
	7~9歳	6歳	4歳	3歳	2歳	1歳	計	1歳	0歳	計	
頭数	6(2)	3(1)	3(1)	4	4	4(2)	24(6)	3(1)	7(2)	10(3)	34(9)

( ) 内は、ジャージーの頭数で、内数である。

○分娩件数 平成25年度 (25.4~26.3) 23頭



## IX 見学等の来校者の対応状況

時 期	来校者・団体	人 数
4.30	卒業生 札幌市会社経営	1名
5.1	町内在住者	1名
5.10	下川婦人ボランティア	20名
〃	オホーツク若者サポートステーション職員	1名
5.17	オホーツク総合振興局 保健環境部長ほか	4名
5.21	救世軍遠軽小隊 小隊長ほか	2名
5.24	道新遠軽支局長 百周年記念事業関係取材	1名
5.26	拓殖大学 有馬先生	1名
5.27	釧路自立援助ホーム・カムイ 小笠原さんほか	2名
〃	旭川六条教会 中島さんほか	4名
6.3	札幌市小学校 北村先生	1名
6.6	北見友の会 河原さん	1名
6.7	武井夫妻	2名
6.10	いのちのこぼ社 中尾編集者 取材	1名
6.11	ろうきん 高柳理事長ほか	4名
6.12	北大教育学部学生	2名
6.15	中央労働金庫 小川理事長ほか	3名
〃	町内 吉川さん ホテル放流のため	1名
6.17	帯広市民生・児童委員協議会	24名
6.18	旭川少年鑑別所 所長ほか	4名
〃	東京都 富田夫妻	2名
6.19	えんしん 理事長	1名
6.21	遠軽町観光協会 写真撮影	1名
6.22	二井先生	1名
6.27	児童養護施設協議会	40名
〃	旭川大学短期大学部 末廣教授、大塚さん（SW協会副会長）ほか	3名
6.29	元分校職員 高田校長、山本先生	2名
6.30	NHK北見局 絹田記者	1名
〃	チューリップおばさん 湧別町 片岡さん	1名
〃	NPO法人えべつ楽友協会 島山さん	1名
時 期	来校者・団体	人 数

7.1	吉川後援会長	1名
7.5	遠軽警察署長ほか	2名
7.8	滝川市民生・児童委員協議会	15名
〃	旭川家裁 裁判官・調査官	4名
〃	白滝 渡辺さん	1名
7.11	深川更生保護女性会	23名
〃	上富良野町保護司会	20名
7.13	岩手 陳夫妻	2名
〃	北星余市高校合気道部顧問 栗原さんほか	4名
〃	OB横山先生の子孫の方	1名
7.16	滝上町こども園松井園長・ひまわり学園佐藤さん	2名
〃	町内在住者ほか	3名
7.17	北星学園大学 片岡先生	1名
7.18	名寄市民生・児童委員	21名
7.20	酪農学園大学 浅川先生	1名
〃	見学者	2名
7.21	田中彬博・吉川忠英コンサート（於：禮拜堂）	2名（一般除く）
7.25	JICA 見学（事務局：旭川医大）	13名
〃	北見市横井さん	1名
7.27	留岡 薫・正男さん	2名
7.30	札幌ナザレン教会 古川牧師ほか	2名
7.31	紺野先生夫妻	2名
8.1	二井先生	1名
8.3	元職員 伊藤夫妻	2名
8.4	「地域計画」大沼さん取材	1名
8.12	三澤いとか会 三澤さんほか	2名
〃	鶴岡さん退職挨拶	1名
8.13	東京から見学者	2名
8.14	NHK札幌放送局ディレクター 吉村さん	1名
〃	雄武町から卒業生一家	3名
8.15	名寄市立短大 宮内先生・学生	8名

時 期	来校者・団体	人 数
8.18	後援会員見学	1名
8.22	網走・月形刑務所 所長ほか	6名
〃	(社福) 東京恵明学園 三浦さん	1名
8.23	新十津川町明和会	12名
8.26	道子ども未来推進局長・山参事、小林北見児相長ほか	6名
〃	北海道情報大学 加藤先生ほか	2名
8.27	岡山県(社福)金曜会、(社福)札幌この実会	4名
〃	道社協 福祉人材バンク	3名
8.28	北海道文教大学生	1名
8.29	遠軽町教育委員会 富永教育委員長・河原教育長ほか	6名
〃	上杉夫妻	2名
8.30	旭川保護観察所 岩崎所長	1名
〃	道特別支援教育センター 上村室長	1名
9.3	余市町 恵泉塾	9名
〃	東京成徳短期大学 大塚先生	1名
〃	見学者	1名
9.5	東京矯正管区 阿部管区長	1名
〃	合気道石垣道場長、埼玉大学合気道部監督・学生	33名
9.7	全道サイクリング大会 in 遠軽 出場者	3名
9.8	滋賀県(社福)鹿深の家 打田施設長ほか	9名
9.10	Kトレーディング 吉田さん、江別楽友協会 畠山さん	2名
9.13	三澤いとこ会	19名
9.14	遠軽町社協会長、東京都 滝さんほか	4名
9.17	網走斜里地区保護司会	17名
〃	遠中卒業生同窓会	15名
9.18	世界基督教統一教会 宍戸夫妻	2名
9.19	東京都 川崎夫妻	2名
〃	淑徳大学 小倉先生	1名
9.21	ふれあいトリオコンサート 吉田恭子さんほか	10名
9.22	旭川 石浦さんほか	5名
〃	田園調布大学の先生	1名

時 期	来校者・団体	人 数
9.22	札幌 中島夫妻	2名
9.23	浅利校長の知人	5名
9.26	保護者関係者	2名
9.29	山梨県北杜市 井上農業者ほか	4名
〃	旭川市 川島さんほか	13名
〃	北大生村尾	1名
9.30	北見工大 中野先生	1名
〃	オホーツク福祉専門学校学生	1名
〃	小林夫妻	1名
10.7	一橋大学 葛野先生	1名
10.9	帯広市民生・児童委員協議会	17名
10.12	帯広少年院 岩浪院長ほか	4名
10.14	見学者	1名
10.15	美幌町民生・児童委員	19名
10.15	女子刑務所 職員ほか	2名
10.21	名寄市立大 小銭先生・学生	22名
〃	沼田町民生・児童委員協議会	17名
10.22	慶応大学生 藤間さん（～23日）	1名
10.23	札幌学院大学 久蔵先生	1名
10.26	遠軽自衛隊 高橋さん	1名
10.28	名寄市立大 先生・学生	19名
10.30	札幌地裁 判事ほか	4名
10.31	光村図書出版KK 南部さん	1名
11.3	旭川大学 先生・学生	7名
11.6	酪農学園大学 浅川先生	1名
〃	北海道文化財保護審議会委員2名、遠軽町教育委員会（～7日）	4名
11.10	救世軍 勝地司令官、真鍋遠軽小隊長、J S Bアンサンブルほか	30名
11.11	札幌家裁 職員	2名
〃	元職員 山口さん	1名
11.14	釧路 自立援助ホーム・カムイ 職員	1名
11.22	遠軽町教育委員会	3名

時 期	来校者・団体	人 数
11.25	釧路家裁 職員	4名
11.28	札幌家裁 裁判官ほか	6名
〃	NHK北見放送局 細井記者	1名
12.2	小樽高等支援学校 職員	2名
12.7	北大 間宮先生、大泉先生	2名
12.13	自衛隊音楽慰問	20名
〃	北海道コカ・コーラボトリングKK 谷藤部長ほか	3名
12.17	慶応大生 富田さん	1名
12.22	名寄市立大 学生	11名
〃	読売新聞北海道支社北見支局 佐藤記者取材	1名
12.24	ふくろうカフェ 白幡さん	1名
〃	救世軍遠軽小隊	2名
H26.1.8	オホーツク森林レスキュー 渡辺会長	1名
1.9	遠軽町議会議員 竹中さん	1名
2.3	オホーツク福祉専門学校生 吉田さん 実習（～9日）	1名
2.17	宮城県さわらび学園 川越さん 実習（～22日）	1名
2.21	共立女子大学 坂本先生	1名
2.28	武庫川女子大大学院臨床教育学研究科 研究生	3名
3.6	JR 北海道 小池会長ほか	3名
3.16	玄 秀盛さん講演会 河原教育長、青年会議所、遠軽新聞社ほか	20名
〃	渡辺組 副社長ほか	3名
3.28	高知大 加藤先生夫妻	2名

(合計 738名)